

---

# はらぺこオオカミと、くるくるヒツジ

かりん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

はらぺこオオカミと、くるくるヒツジ

### 【Nコード】

N4686V

### 【作者名】

かりん

### 【あらすじ】

はらぺこオオカミは悩んでいました。とっても、とっても、悩んでいました。え？ どうしてかって？  
だって、くるくるヒツジは、とっても、きれいでしたから。

短編小説サイト【セカイのカタチ】／童話館【ぐるぐるの森】からの転載です。

はらぺこオオカミと、くるくるヒツジ

はらぺこオオカミは、うゝむ、と悩めます。

草原に、おいしそうな、ごちそうがいます。

白くて柔らかそうな、くるくる巻き毛が、お日様にふわふわと輝いています。

緑の中にいる、くるくるヒツジは、とても、きれいに見えました。はらぺこオオカミが着ている毛皮は、茶色くてゴワゴワかたいので、

白くて柔らかそうな、くるくる巻き毛が、秘密の宝もののようにまぶしいです。

はらぺこオオカミは、うゝむ……！ と悩めます。

だって、とっても、はらぺこです。

昨日から、なんにも食べていないのです。

とりあえず、隠れていた林の中を、ひとりで、うろろろしてみました。

かいけつ方法は、みつかりません。

はらぺこオオカミは、うゝゝむっ！ と悩めます。

だって、くるくるヒツジを食べてしまうと、あのきれいな白い毛

が赤く汚れてしまいます。

せっかく、自分だけの宝物を見つけたのに、それは、とてもイヤなのです。

とりあえず、茶色い毛皮の腕を組んで、首をひねって考えてみました。

かいけつ方法は、みつかりません。

はらぺこオオカミは、うううゝむっ！ と悩みます。

はらぺこのおなかがクークーないで、早く食べよう、と誘います。とりあえず、ないてるおなかを両方の手で押さえてみました。

かいけつ方法は、みつかりません。

くるくるヒツジは、お食事中です。

白く美しい、くるくる巻き毛を、お日様にぽかぽか照らされて、それはそれは、おいしそうに、緑の草を食べています。

くるくるヒツジは、しあわせそうです。

林の中で、はらぺこオオカミが悩んでいることなど、くるくるヒツジはぜんぜん知らないのです。

だって、はらぺこオオカミは、足音や匂いを消してしまうのが、とっても上手でしたから。

はらぺこオオカミは、うううゝむっ！ と悩みます。

とりあえず、シラカバの樹を、がしがし、牙でかじってみました。けれど、おなかは、なりやみそうにもありません。

そもそも、木の皮は、あんまり好きではありません。

はらぺこオオカミは決心しました。

うんっ！ と大きく頷いて、シラカバの林を出ていきます。きりっ、と顔を前に向け、

両手を振って、ずんずんと、  
くるくるヒツジに向かいます。

でも、お顔がちよっぴり恐いので、驚かせないようにしないとい  
けません。

くるくるヒツジは顔を上げ、「なにか、ごよう？」「とききまし  
た。

はらぺこオカミは、ゴクリ、とつばを飲みこみました。  
そして、くるくるヒツジに言ったのでした。

「お友だちから、始めませんか？」

く はらぺこオカミと、くるくるヒツジ く

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4686v/>

---

はらぺこオオカミと、くるくるヒツジ

2011年10月9日14時18分発行